

農業

稲作・野菜を中心とする本町では引き続き、担い手の育成・確保と支援に軸足を置きながら、地産地消の推進や環境にやさしい農業の推進、水田農業の経営安定化に向けた生産調整の推進など、各事業の推進に努めていきます。

担い手育成については引き続き、持続性のある農業の構築に向け、認定農業者の掘り起こしや既存ライスセンターの法人化など、支援体制づくりに努めていきます。

地産地消の推進に向けた取り組みについては、朝市・白里遊楽市をはじめ、生産者自らが行う農産物等直売や、地元農産物の学校給食等への食材供給の推進など、町内での地元農産物の消費拡大に努めていきます。

農村整備

瑞穂地区幹線道路整備事業については、平成21年度から非農用地を道路拡幅用地として取得したうえで、将来の交通利便並びに交通量を勘案した道路の測量設計業務を予定



整備が進められている瑞穂地区の道路

しています。広域営農団地農道事業・十九里 期分については、今年度、細草地内で延長562メートルの道路工事を施工しました。

来年度も、事業主体である県や関連市町と連携して、早期の整備を推進します。

商工

経済不況により、企業の倒産や派遣切り等による失業者は増え続け、雇用不安も懸念されています。

中小企業では、金融不安や景気後退の影響をまともに受け、資金繰りの悪化が懸念されることから、セーフティネット保証制度を活用して、町内でも60件ほどの認定をしています。今後も県や町商工会と連携を図り、幅広く、各支援制度のPRと有効活用を努めていきます。

失業対策については、失業者の就労支援として緊急雇用創出事業臨時特例交付金事業を実施していく予定です。

地域活性化対策については、空き店舗を活用した大網高校生徒によるチャレンジショップなどの事業実施など、引き続き、商工会や関係機関と連携を強化して商工の振興に努めていきます。

観光

白里海岸の振興策については、観光地としてふさわしい施設整備を進めています。平成20年度は、3棟目の公衆水洗トイレの改築が完了しました。今後は、町観光協会や関係団体と連携を図りながら、観

土木

平成21年度の道路整備については、延長2,230メートルの道路改良、舗装新設、舗装補修工事を予定しています。さらに、全町を対象とした交通安全施設整備工事を計画的に推進していきます。

排水対策事業については、21力所・延長2,085メートルの道路側溝、幹線排水路の整備やしゅんせつを予定しています。

そのほか、県による主要地方道山田台大網白里線バイパスの宮谷地先から国道128号までの2期事業区間の用地取得と並行し、一部区間の工事が進められます。

準用河川金谷川改修事業については、引き続き用地取得に努めていきます。

大網駅東土地区画整理事業

宅地造成や道路築造および電線共同溝等の整備により、一部区域の使用収益が開始されています。

平成21年度も引き続き、都市基盤施設の整備や宅地造成および家屋等の移転補償を予定しています。今後も、市街地形成の早期完成に向け、努力していきます。

下水道

平成21年度の公共下水道事業については、汚水管布設工事を富田東・北今泉・南今泉・四天木地区において、全

光のPR活動や環境整備を進めていきます。

大網駅東土地区画整理事業関連では、事業の進捗よくに合わせ、汚水管と雨水管の布設工事を予定しています。

雨水排水施設の整備については、小中川雨水第二ポンプ場の実施設計が平成20年度末に完了することから、平成21年度には工事に着手し、平成23年度末の完成を目指していきます。

そのほか、来年度の主な施設整備として、白里中学校では受水槽の漏水補修工事を、白里幼稚園では下水道接続工事を実施していきます。

学校教育

平成21年度の重点事業に位置付けている小・中学校の耐震化対策事業については、大網中学校教室棟耐震構造改修工事3期工事のほか、瑞穂小学校と増穂小学校の教室棟耐震構造改修工事を実施していきます。

さらに、瑞穂小学校屋内運動場の耐震改修に伴う設計委託業務を実施するほか、白里中学校校舎の管理棟についても耐震改修を実施するた

め、改修工法を検討する委託業務を実施し、小・中学校の耐震化対策を積極的に進めていきます。

大網小学校と白里小学校の耐震対策につきましては、早急に対応する必要があります。

大網小学校は移転改築するための設計業務と地質調査業務を、白里小学校は、耐震改修を目的とする校舎改築を実施するための地質調査業務を行う予定となっています。

そのほか、来年度の主な施設整備として、白里中学校では受水槽の漏水補修工事を、白里幼稚園では下水道接続工事を実施していきます。

大網中学校の通学路安全対策事業については、駅前広場の交差点に交通警備員を配置する安全対策を、引き続き実施していきます。

善意のご寄付に感謝します

福祉事業の推進や学校教育の向上など、町の発展のために役立たせていただきます。(H20.3～H21.2、順不同・敬称略)

個人
向後正雄、山本信次、古山正洋

団体
(株)つくも社員一同、(株)五十嵐商会、(財)藤本育英会、瑞穂小学校PTA、白里地区婦人会

なお、救護施設房総平和園には、多くの方々から日用品などの慰問品をご寄付いただきました。ありがとうございました。

財山武郡市文化センター

25年間にわたり山武郡内の2市3町で連携し、埋蔵文化財の発掘調査と文化財保護思想の涵養と普及を目的に活動を行ってまいりましたが、開発事業の減少により、財団の運営

国体

平成22年「ゆめ半島千葉国体・ゆめ半島千葉大会」の開催に向けたりハール大会として、8月に第64回国民体育大会関東ブロック大会(少年女子バレーボール競技)を、大網白里アリーナで開催します。

大会の運営には競技役員のほか、近隣の高校生や町内

が極めて困難な状況となったことから、本年3月31日をもって解散することになりました。4月1日からは清算法人に移行し、来年度中に清算を完了する予定です。

既存の建物については、本町で埋蔵文化財や民俗資料の収蔵施設として、有効活用していきたいと考えています。



庁舎に下げられた国体横断幕

大網病院

臨床研修病院関係については、病院独自の医師の確保

の中学生が競技補助員としてかわることになります。また、千葉国体に向けて、会場の一部を改修整備していきます。

今後も関係機関と緊密な連携を図りながら、大会気運の醸成に努めていきます。

保健師だより

今年も特定健診・保健指導を受けて健康の目安に

昨年度から始まった特定健診。町では国民健康保険に加入している40歳以上の方を対象に実施しました。対象になった皆さんは、受診しましたか。

健診後、メタボリックシンドロームの診断基準に当てはまった方を対象に、保健指導・栄養相談・運動指導などを実施し、3月には総仕上げとして体力測定・計測・採血を行いました。その結果、平均で2～3キロの体重減少が見られました。中には8～10キロ減少したという方も。その方々に話を聞いてみると、特定健診が始まったこと、また、健診結果がメタボリックシンドロームの項目に該当したことで、今までの生活習慣を見直すきっかけができたことでした。

ある研究では「3カ月間、食事制限だけで3キロ程体重が減少した場合に、落ちてしまう筋肉の量は通常

の加齢に伴う減少量の5年分に相当する」ということが明らかになっています。筋肉量が落ちてしまうと、基礎代謝が低下し、やせにくくなってしまいます。体重の減少は食事のバランス、有酸素運動、筋力トレーニングを組み合わせることで実施していくことが重要です。「何かを始めたいけれど、何から始めたらよいか分からない」という方は、問い合わせてください。

今年も、6月から各地域で特定健診が始まります。昨年受けた方は、継続して受診することで、前年と比較をしながら自分の身体の変化を知ることができます。今年も特定健診を受けて、生活習慣を見直すきっかけにしましょう。

利用してください

各施設でメタボメジャーの貸し出しをしています。ご希望の方は、各窓口で声を掛けてください。